

# 2021年度 第2四半期決算説明会

2021年11月8日（月）  
代表取締役社長CEO  
加藤 照和

## 本日の内容

1. 2021年度 第2四半期決算概況
2. 国内事業
3. 中国事業
4. ESG・サステナビリティ
5. 2021年度 業績予想

### ■ 本日の内容

## 本日の内容

### 1. 2021年度 第2四半期決算概況

### 2. 国内事業

### 3. 中国事業

### 4. ESG・サステナビリティ

### 5. 2021年度 業績予想

## ■ 2021年度 第2四半期決算概況

## 2021年度 第2四半期決算概況



(百万円)

	2021年度 2Q計画(修正前※)	2021年度 2Q実績	達成率	2020年度 2Q実績	前年同期比	
					金額	伸長率
売上高	59,400	63,416	106.8%	56,952	+6,464	+11.4%
国内	55,500	58,829	106.0%	54,475	+4,353	+8.0%
海外	3,900	4,587	117.6%	2,476	+2,110	+85.2%
営業利益 (営業利益率)	8,700 (14.6%)	11,684 (18.4%)	134.3%	10,920 (19.2%)	+763	+7.0%
経常利益	9,000	13,409	149.0%	10,909	+2,499	+22.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,900	9,965	144.4%	8,002	+1,963	+24.5%

※10/29「業績予想修正のお知らせ」において、第2四半期業績予想を、売上高63,400百万円、営業利益11,600百万円、経常利益13,400百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益9,900百万円、と修正公表しております。



4

## ■ 2021年度 第2四半期決算概況

第2四半期決算の概況は、修正前の年初計画・第2四半期の実績・前年同期の実績を表示しています。尚、前年同期の数字は、すべて収益認識基準に組み替え表示しています。

ご覧のような実績となり、利益が東証適時開示基準に達する見込みとなったことから、注記のとおり、第2四半期ならびに通期の業績予想を修正公表しました。

## 決算ポイント



### 国内・海外の売上高伸長による増収増益の決算

<b>売上高</b>	<b>63,416</b> 百万円	達成率	<b>+106.8%</b>	前年同期比	<b>+11.4%</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内売上高：58,829百万円 前年同期比 8.0%伸長</li> <li>■ 医療用漢方製剤（129処方）売上高：56,377百万円 前年同期比 7.7%伸長</li> <li>■ ヘルスケア（OTC漢方製剤など）売上高：1,713百万円 前年同期比 24.4%伸長</li> <li>■ 海外売上高：4,587百万円 前年同期比 85.2%伸長</li> </ul>					
<b>営業利益</b>	<b>11,684</b> 百万円	達成率	<b>+134.3%</b>	前年同期比	<b>+7.0%</b>
<b>営業利益率</b>	<b>18.4</b> %	年初計画比	<b>+3.8pt</b>	前年同期比	<b>△0.8pt</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上原価率：48.4% 前年同期比 +1.3pt 年初計画比 +0.3pt 対前年：主にSD棟償却負担増・中国外部販売増の影響</li> <li>■ 販管費率：33.1% 前年同期比 △0.6pt 年初計画比 △4.1pt 対計画：主に人件費の減少・研究開発費の期ずれの影響</li> </ul>					
<b>経常利益</b>	<b>13,409</b> 百万円	達成率	<b>+149.0%</b>	前年同期比	<b>+22.9%</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 当2Q為替差益：1,184百万円 前2Q為替差損：485百万円 主に為替差損益の影響</li> </ul>					
親会社株主に帰属する <b>四半期純利益</b>	<b>9,965</b> 百万円	達成率	<b>+144.4%</b>	前年同期比	<b>+24.5%</b>

5

## ■決算ポイント

国内売上高は、前年同期比で医療用漢方製剤が7.7%伸長の563億円、ヘルスケアが24.4%伸長の17億円と、いずれも高伸長でした。

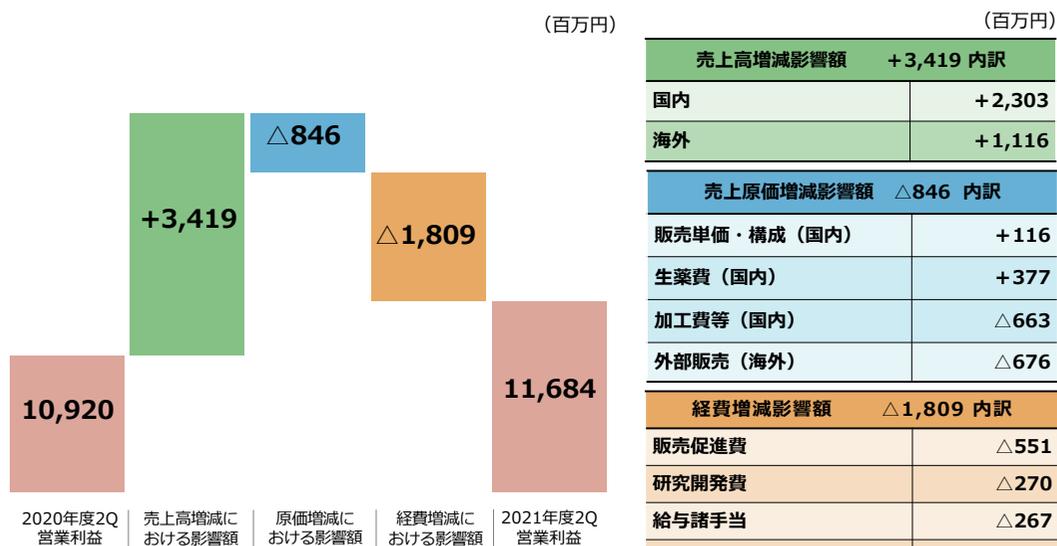
海外売上高は、前年同期比85.2%伸長の45億円と21億円の増加であり、これまで同様、中国事業で原料生薬・飲片を中心に販売拡大した結果です。

売上原価率は48.4%で、前年同期比+1.3ptは、主に、国内は茨城工場SD棟稼働に伴う償却負担増によるもの、中国は外部販売増によるもの、計画比+0.3ptは、主に販売構成に伴う生薬費増によるものです。

販管費率は33.1%で、前年同期比△0.6ptは、18億円増加した販管費を売上高増で吸収したことによるもの、計画比△4.1ptは、販管費△10億円のうち、主に長期間の緊急事態宣言等による人件費、給与諸手当の減少約2億円と研究開発費の期ズレ約2億円によるものです。

営業外損益では、ご覧のとおり、為替差損益の反転（前年約5億円の差損に対して当第2四半期約12億円の差益）が影響しています。

## 営業利益の増減要因（前年同期比）



6

## ■ 営業利益の増減要因（前年同期比）

営業利益116.8億円は前年同期比+7.6億円であり、主な増減要因は、売上高増加による影響が国内+23億円、海外+11億円の合計+34億円、売上原価増加による影響は△8.4億円ですが、国内は生薬費等の減少と茨城工場第3SD棟稼働に伴う償却費など加工費の増加による影響が△2.9億円、海外は中国事業の外部販売増に伴う増加による影響が△6.7億円でした。

経費増加による影響はご覧の内容で△18億円でした。

なお、比較しております前年度の損益計算書は、PPA調整後の金額となっております。2020年度第2四半期の営業利益は、PPA調整により、約2億減少しました。

## 財務状態およびキャッシュ・フロー



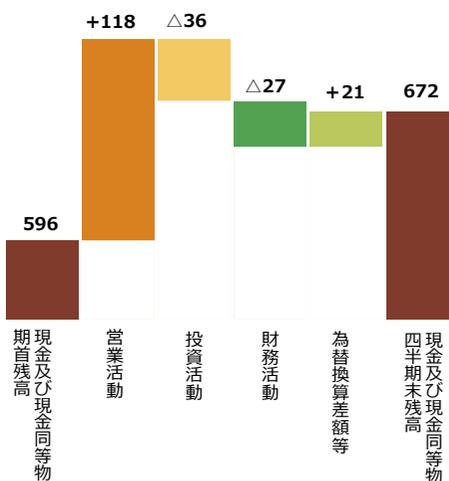
(百万円)

	2020年度 (2021.3)	2021年度 2Q	増減額
資産合計	319,063	<b>335,881</b>	16,817
流動資産	204,273	<b>218,576</b>	14,303
固定資産	114,789	<b>117,304</b>	2,514
負債合計	85,894	<b>90,240</b>	4,346
流動負債	48,380	<b>43,824</b>	△4,556
固定負債	37,513	<b>46,416</b>	8,902
純資産合計	233,169	<b>245,640</b>	12,471
自己資本比率	68.3%	<b>68.2%</b>	△0.1pt

	2020年度 (2021.3)	2021年度 2Q	増減額
棚卸資産計	80,755	<b>87,104</b>	6,349
商品及び製品	13,939	<b>10,073</b>	△3,865
仕掛品	13,396	<b>14,043</b>	646
原材料及び貯蔵品	53,419	<b>62,988</b>	9,568

(億円)



7

## ■財務状態およびキャッシュ・フロー

2020年度末比で、資産合計は168億円の増加、流動資産が143億円増加で、うち棚卸資産は63億円の増加です。固定資産が25億円増加で、うち有形固定資産は23.8億円の増加です。

棚卸資産63億円増の内訳は、販売増加により製品が△38億円、仕掛品+6億円です。原材料は+95億円ですが、このうち中国生薬在庫の為替換算による影響が30億円含まれています。

負債合計は43億円の増加、流動・固定負債の間では、借入金の借換えに伴い、流動負債の一年内返済長期借入金93.7億円が減少し、同額の長期借入金が増加しています。流動負債では、主に中国事業の仕入れ39億円増により、買掛金が41億円増加しています。

自己資本比率は68.2%、キャッシュ・フローはご覧の通りです。

## 本日の内容

1. 2021年度 第2四半期決算概況
2. 国内事業
3. 中国事業
4. ESG・サステナビリティ
5. 2021年度 業績予想

### ■ 国内事業

# 医療用医薬品市場との比較



(前年同期比・薬価ベース)



市場との差  
**+4.5pt**  
(2Qのみ: +3.5pt)

**一般診療所 (GP)**



e-プロモーション × MRIによる面談や説明会  
により新規に漢方を処方する医師が増加

**病院 (HP)**



訪問規制が継続しているものの、  
e-プロモーションの強化により回復傾向

## ■ 医療用医薬品市場との比較

ご覧の各グラフは、2020年度第1四半期に発生したCOVID-19の影響の推移を、医療用医薬品市場・緑のグラフと当社・茶色のグラフで表しています。

全体では、医療用医薬品市場・緑のグラフが、2020年度第1四半期からマイナスとなり、第2四半期がボトムで第3四半期からの回復傾向が見て取れますが、当社はそこまでのマイナス影響は受けませんでした。2021年度上期では医療用医薬品市場との差は4.5pt程度上回っています。

一般診療所 (GP) においては、当社は継続して医療用医薬品市場を上回っている一方、病院 (HP) においては、訪問規制の影響がCOVID-19でさらに厳しくなったことから、当社は2020年度第2四半期以外継続して下回っており、また回復も少し遅れ、e-プロモーション体制が整ってきた2021年度上期に医療用医薬品市場に追いつき始めています。

# COVID-19関連症状と処方機会

処方機会が増加した疾患 **+11.6億円**

減少した疾患 **△0.6億円**

### 精神疾患

外部環境の変化に伴う  
精神不安や不眠

加味逍遙散  
加味帰脾湯  
半夏厚朴湯  
柴胡加竜骨牡蛎湯  
など 計6処方

### めまい

心身の不調に  
よるめまい

半夏白朮天麻湯  
苓桂朮甘湯  
(五苓散) ※

### 皮膚疾患

マスク着用に伴う  
にきびや皮膚炎

桂枝茯苓丸加薏苡仁  
十味敗毒湯  
清上防風湯  
荊芥連翹湯

### 風邪関連

感染予防対策による  
呼吸器疾患の患者数減少

葛根湯  
麻黄附子細辛湯  
小柴胡湯  
小柴胡湯加桔梗石膏  
桂枝湯  
など 計7処方

### 補剤

病後の疲労倦怠、食欲や体力などの低下した状態に用いる処方群

補中益気湯 十全大補湯

※五苓散はめまい以外での処方機会も増加しているため算出根拠から除外

📝 麦門冬湯が2Qから  
プラスに  
(前年同期比)

(金額：前年同期比・出荷ベース)



コロナ後遺症外来の設置もあり、下記症状にも漢方薬が処方

➡ COVID-19感染後に継続する症状 (疲労感・倦怠感、息切れ、不安、睡眠障害など)

## ■ COVID-19関連症状と処方機会

COVID-19関連症状のうち、精神疾患・めまい・皮膚疾患において漢方の処方機会が増加しており、また、補中益気湯・十全大補湯など「補剤」が、病後の疲労倦怠や体力などの低下した状態に用いる処方として継続的に伸長しており、前年同期比+11.6億円と分析しています。

一方、これまで落ち込みが大きかった風邪関連処方ですが、マイナス影響が縮小傾向で、前年同期比△0.6億円と分析しています。中でもマイナス幅が最も大きかった麦門冬湯は、情報提供活動を強化した結果、第2四半期から前年同期比プラスと回復傾向となっています。

コロナ後遺症に関しては、一部外来も設置され始めており、ご覧のような感染後に継続する症状に、漢方薬が処方される機会も増えています。

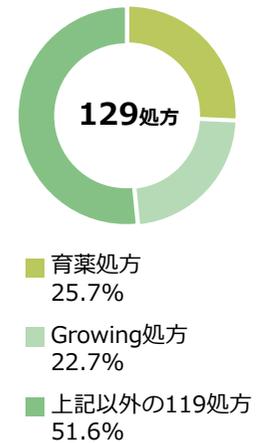
## 育薬処方・Growing処方 売上高



(百万円)

	売上 順位	製品No./処方名	2020年度2Q	2021年度2Q	前年同期比	
育薬 処方	1	100 大建中湯	4,663	4,790	+126	+2.7%
	3	54 抑肝散	3,542	3,720	+177	+5.0%
	4	43 六君子湯	3,360	3,557	+196	+5.8%
	8	107 牛車腎気丸	1,610	1,736	+126	+7.8%
	24	14 半夏瀉心湯	633	678	+44	+7.1%
育薬処方合計			13,810	14,482	+671	+4.9%
Growing 処方	2	41 補中益気湯	3,543	3,741	+197	+5.6%
	5	17 五苓散	2,249	2,680	+430	+19.2%
	6	68 芍薬甘草湯	2,310	2,426	+115	+5.0%
	7	24 加味逍遙散	2,150	2,415	+264	+12.3%
	10	29 麦門冬湯	1,468	1,531	+62	+4.3%
Growing処方合計			11,722	12,794	+1,071	+9.1%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			26,810	29,100	+2,290	+8.5%
医療用漢方製剤129処方合計			52,343	56,377	+4,033	+7.7%

売上高構成比率



※2020年度2Q売上高：収益認識基準適用後の金額で表示

11

## ■ 育薬処方・Growing処方 売上高

右の円グラフの通り、漢方製剤129処方において、48.4%の売上高構成を占める育薬5処方とGrowing5処方が、成長ドライバーともいふべき売上牽引処方ですが、ようやくあるべき姿になってきました。

前年同期比で、129処方の増加額40億円のうち、育薬5処方・Growing5処方合計の増加額は17.4億円であり、貢献度合いは43.2%となっています。

高いレベルのエビデンスを集積している育薬5処方、エビデンス重視の大学病院などの施設を中心に新規開拓を進め、成長率の高いGrowing処方を中心に関連処方へ面展開していくことで、病院（H P）市場を拡大し、同時に一般診療所（G P）市場をさらに深化・深掘していくことで「漢方医学の確立」を目指すというのが一貫した事業戦略です。

- 高齢者関連領域、がん領域（支持療法）、女性関連領域の重点3領域を集中的に活動
- 重点3領域において、育薬処方・Growing処方を中心に営業アプローチを展開



育 育薬処方      G Growing処方

## ■ 営業活動の重点3領域

その育薬処方とGrowing処方を中心に、日本の社会課題である「高齢者関連領域」「がん・支持療法」「女性関連領域」の重点3領域で継続的に活動しています。

本日は、青枠でお示ししております、高齢者関連領域の「循環器疾患における周辺症状」と、女性関連領域の「婦人科疾患」に対する当社の取り組みをご説明します。

## 高齢者の心不全

超高齢社会到来に伴う高齢者心不全の増加

循環器疾患における周辺症状  
(高齢者心不全)



浮腫・下痢・めまい (五苓散) **G**

倦怠感が著しい食欲不振 (補中益気湯) **G**

食欲不振 (六君子湯) **育**

腹部膨満感 (大建中湯) **育**

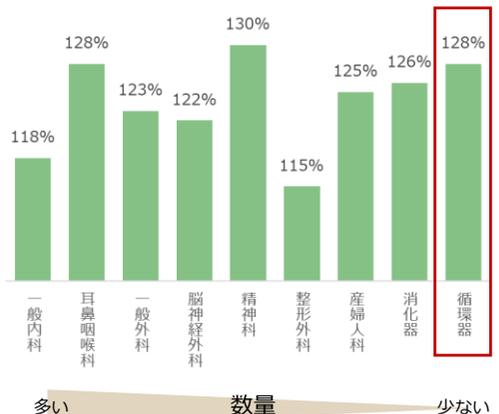
四肢の冷えを伴うむくみ (牛車腎気丸) **育**

便秘 (麻子仁丸)

**育** 育薬処方

**G** Growing処方

五苓散の伸長率 (主な診療科)



(前年同期比：実売・数量ベース)

## ■ 高齢者関連領域における新たな取り組み

超高齢社会到来に伴う高齢者心不全が増加していることから、2020年度から高齢者関連領域において、ご覧のような「循環器疾患における周辺症状」を重点施策として追加しています。

前年同期比で19.2%と129処方の中で最も伸長率が高かった五苓散は、右のグラフのように、処方数量の多い一般内科・耳鼻咽喉科をはじめ、多くの診療科において処方数量が増加しています。

まだ処方数量が少ないですが、高齢者心不全の浮腫・下痢・めまいといった症状に処方されることから、赤枠の循環器における処方数量の増加が、今後見込まれると分析しています。

## 女性の8割が「隠れ我慢」をしていることが調査で明らかに



不調を我慢して仕事や家事をすることがある

我慢している  
79.2%



感じて我慢する不調 TOP10 (複数回答)

1位	疲れ・だるさ	23.8%
2位	イライラ感	16.2%
3位	不安感	15.6%
4位	PMS (月経前症候群)	13.7%
5位	寝つきにくい・目覚めが悪い・眠りが浅い・不眠	11.6%
6位	冷え	11.3%
7位	頭痛	11.2%
8位	生理痛・生理不順・生理前後の腹痛	11.0%
9位	言葉にしにくい不調	10.9%
10位	便秘	10.7%

当社調べ

全体 (n=10,000)

### #OneMoreChoice プロジェクト



#One More Choice

第69回 朝日広告賞「準薬品・化粧品・トイレタリー部門賞」

第70回 日経広告賞「食品・医薬品・生活用品部門 優秀賞」

第2回 日経ウーマンエンパワーメント広告賞「日経特別賞」

## ■女性の8割が「隠れ我慢」をしていることが調査で明らかに

女性関連領域においては、2021年3月8日の「国際女性デー」に合わせて、当社は「女性の不調に、我慢に代わる選択肢を」というメッセージとともに、心身の不調に対して我慢に代わる選択肢をとれる社会、心地よい社会の実現に向けた「#One More Choiceプロジェクト」を開始しました。

プロジェクトでの実態調査により、約8割にもものぼる女性が、不調を我慢して仕事や家事をこなしていることが明らかになりました。

## 女性関連領域における継続的な取り組み



### 女性のライフサイクルに寄り添う漢方処方

(出荷・金額ベース)

女性特有の症状に  
処方される  
代表的な漢方薬



#### 当帰芍薬散

貧血、倦怠感、更年期障害、  
月経不順、月経困難など



#### 桂枝茯苓丸

子宮内膜炎、月経不順、  
月経困難、更年期障害など



#### 加味逍遙散

精神不安などの精神神経症状、  
更年期障害、月経不順など

医療用漢方製剤

2020年2Q  
前年同期比

当帰芍薬散 +12.6%

加味逍遙散 +12.3%

桂枝茯苓丸 +8.7%

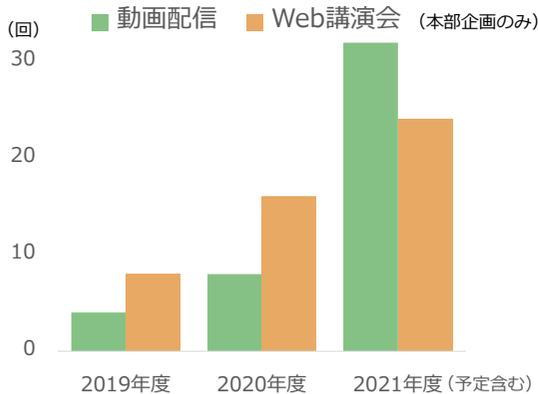
15

## ■ 女性関連領域における継続的な取り組み

当社は1893年(明治26年)、婦人薬「中将湯」の発売で創業いたしました。が、婦人科における漢方薬の処方率は他の診療科よりも高く、厚生労働省のNDBデータでは、どの年代層においても、女性の漢方薬服用率が高いという結果となっています。

特に、イラストにあります当帰芍薬散、加味逍遙散、桂枝茯苓丸は、女性特有の症状に処方される「婦人科3大処方」と称される代表的な処方です。ご覧のとおり、前年同期比で、いずれも高い伸長率でした。

臨床医 約33万人※に情報をお届けするために



病院勤務医 (HP) の視聴が多いWeb講演会

年度	開催テーマ
2019年度	消化器科領域 高齢者領域 呼吸器科領域 その他 (一般)
2020年度	消化器科領域 高齢者領域 冷え性 呼吸器科領域 精神科領域 その他 (がん、一般)
2021年度 予定含む	消化器科領域 精神科領域 高齢者領域 (補剤) 呼吸器科領域 婦人科領域 整形外科領域 その他 (がん、めまい)

※出典：「医師の需給推計について」(厚生労働省) (<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000203370.html>)

## ■e-プロモーションの推進

先ほど、病院 (HP) 市場の拡大について説明いたしましたが、特に、訪問規制が厳しい病院 (HP) 市場において、e-プロモーションの推進を加速しています。

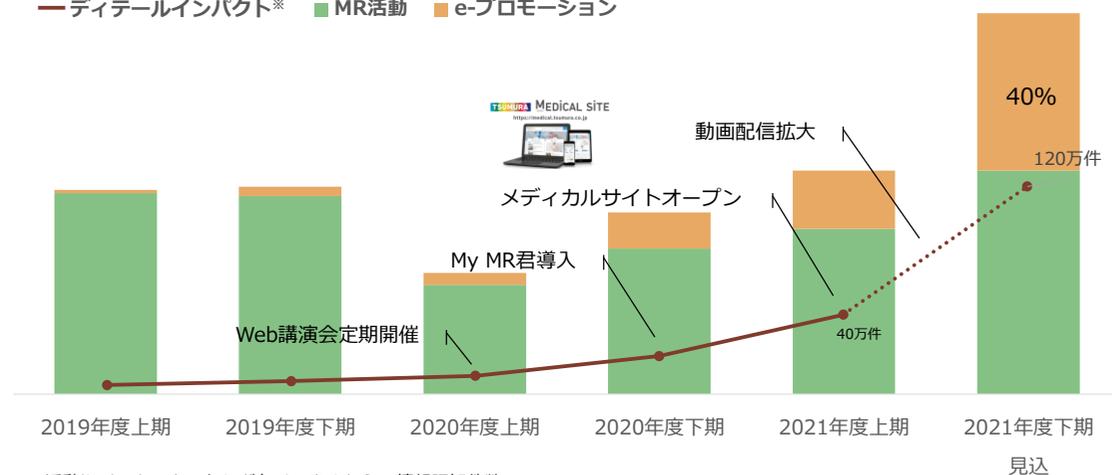
約33万人の臨床医に漢方の情報をお届けすることにより、国民の皆様が、どの医療機関・診療科においても、必要に応じて漢方治療を受けられる医療現場の実現を「あるべき姿」と考えて活動を続けています。

医薬営業本部において、ご覧のテーマで大規模に企画・開催している動画配信 (緑色) とWeb講演会 (オレンジ色) の実施回数をグラフでお示ししています。Web講演会は、多くの病院勤務医 (HP市場) にご視聴いただいています。

## e-プロモーションの効果

### 各種デジタルツール導入による漢方情報の認知度向上

— ディテールインパクト※   ■ MR活動   ■ e-プロモーション



※MR活動やインターネットなど各チャネルからの情報認知件数  
(医師へのインターネット調査より)

インテグヘルスケア調査「Impact Track」(※5 インターネット以外) 17

## ■ e-プロモーションの効果

こちらは、MR活動とe-プロモーションによる情報提供活動の比率の推移をお示ししています。また、折れ線グラフはディテールインパクトによる情報認知度件数の推移を表しています。

MR活動の定義は「対面およびオンラインでの医師面談と説明会」であり、動画配信やWeb講演会などMRを介さない情報提供活動をe-プロモーションと定義しています。

2020年度下期～2021年度上期においては、e-プロモーションに必要な投資を集中的に実施した結果、多くの医師に漢方薬の情報が届けられています。2021年度下期は、上期の3倍以上のディテールインパクトを目指し、e-プロモーション関連を含めたデジタル投資を行います。

「価値ある情報をより多くの医師にご提供する」ことが、足元での最優先事項であり、e-プロモーションによって医師の興味・関心を掘り起こし、MRのフォロー活動により処方化に結びつけていく「新しいカタチ」での情報提供活動を定着させ、営業活動の生産性を向上させる方針です。

e-プロモーションの推進により  
漢方薬を処方する医師が増加



新規に漢方薬を  
処方した医師数※1

約**7,000**人※3

漢方薬の処方数が  
増加した医師数※2

約**15,000**人※3



- ※1：未処方医師が処方化したことを確認できた数
- ※2：既処方医師が処方数を増やしたことを確認できた数
- ※3：2021年4月1日を起算日として2021年9月30日までの増加数

当社調べ

■ 処方機会の増加

e-プロモーション推進の結果、当社調べでは、2021年度上期において「新規に漢方薬を処方した医師」が約7,000人、これとは別に「漢方薬の処方数が増加した医師」が約15,000人と分析しています。

もちろん、漢方薬を処方している医師の減少や処方数の減少も毎年一定数は生じておりますが、e-プロモーションの推進により、より多くの医師に情報提供ができる環境となってきたものと捉えています。

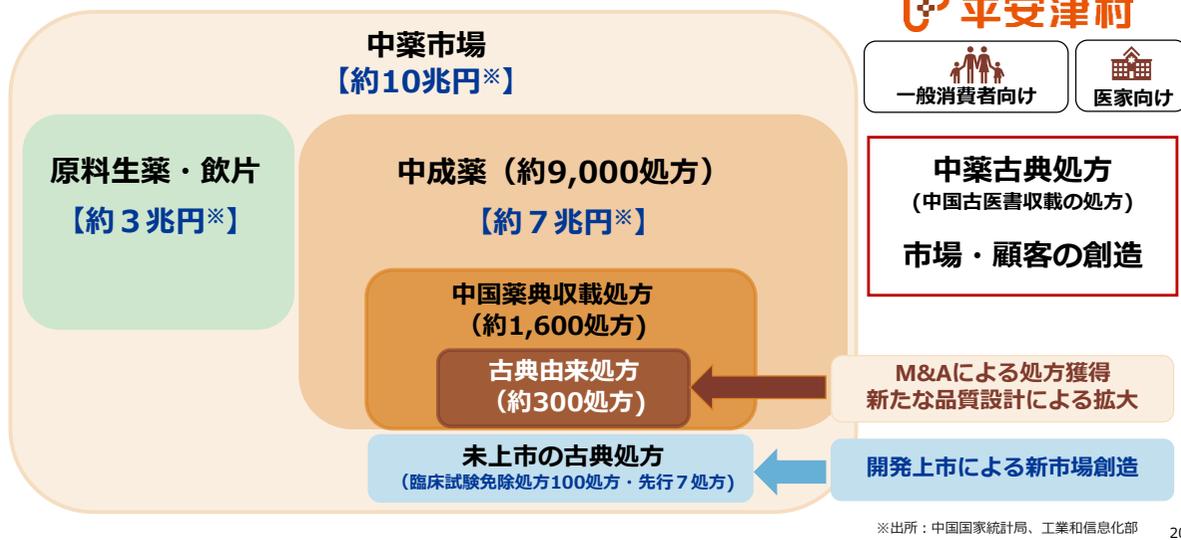
「新型コロナで未来が早くやってきた」ということでしょうか。

## 本日の内容

1. 2021年度 第2四半期決算概況
2. 国内事業
- 3. 中国事業**
4. ESG・サステナビリティ
5. 2021年度 業績予想

### ■ 中国事業

平安津村ブランド製品により「中国国民から信頼される中薬企業」へ



## ■ 中国事業の将来展望

中国の中薬市場において私たちが目指すものは、まず約3兆円市場と言われる「原料生薬・飲片」において、ツムラGACPという栽培加工の管理方法に基づく生薬契約栽培の強みを活かし、安全・安心・良質な原料生薬・飲片を製品として提供することであり、今年度末97億円が販売計画です。その需要は今後ますます高まると分析しています。

次に、約7兆円市場と言われる「中成薬」において、日本で言えば日本薬局方に相当する、中国医薬品品質保証における国家レベルの法的根拠である中国薬典に収載される処方で、かつ古典由来処方がターゲットです。これは日本の漢方製剤に類似しており、当社グループの技術・ノウハウ・人財を活用できる分野です。しかしながら、多くの中国企業が既に承認取得しているものの、製造・販売されていないものも多く、その市場規模は中成薬市場の1～2割程度とされています。一般消費者向けも多く、この古典由来処方がM&Aの対象となります。

そして、国が管理する未上市の古典処方で、臨床試験免除100処方、うち先行7処方が開発上市の対象で、当社グループは1～2処方に絞って申請準備しておりますが、こちらも日本の漢方製剤に類似しているもので、まず医家向けとして承認を目指すものです。

つまり、現状の中成薬市場のシェアを奪取するのではなく、国民の皆さんにまだ届いていない、市場規模がまだ小さい古典由来処方の分野を中心に「平安津村ブランド製品」としてお届けすることを目指しています。

## 長期経営ビジョン2031、サステナビリティ・ビジョン2050

### 日 程

2022年 3月下旬 (90分を予定)

### 内 容

- サステナビリティ・ビジョン2050
- 長期経営ビジョン2031 (国内事業・中国事業)
- R&D方針・戦略
- 質疑応答

### ■説明会実施のご案内

現在、2022年度を初年度とする長期経営ビジョン2031、サステナビリティ・ビジョン2050を策定中です。

2022年3月下旬に、長期経営ビジョン2031、サステナビリティ・ビジョン2050、R&D方針・戦略の説明会を実施させていただく予定です。

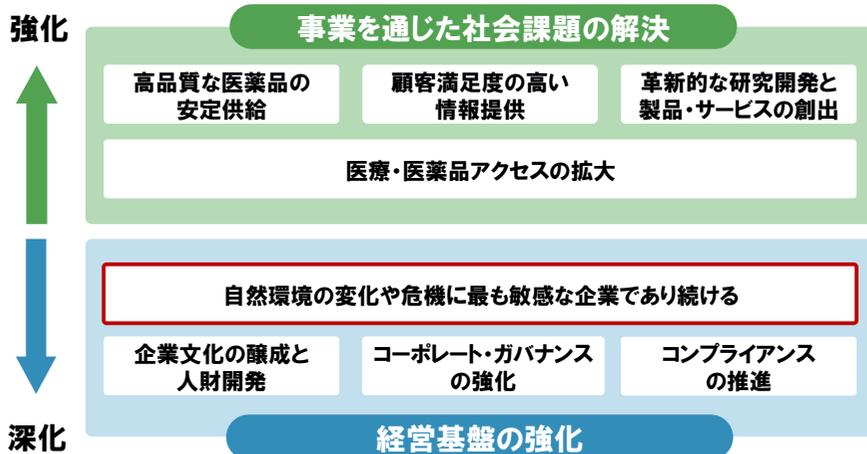
この機会に、中国事業の現地経営陣が直接、長期経営ビジョン2031における中国事業の方針・戦略について説明させていただき、皆様との対話を実施させていただこうと考えています。平安保険グループから平安津村の経営に参画しているキーマンにも登壇いただく予定です。

## 本日の内容

1. 2021年度 第2四半期決算概況
2. 国内事業
3. 中国事業
4. ESG・サステナビリティ
5. 2021年度 業績予想

### ■ ESG・サステナビリティ

「事業を通じた社会課題の解決」と「経営基盤の強化」の両面から  
ツムラグループ・マテリアリティをバージョンアップ



## ■ ツムラグループ・マテリアリティ

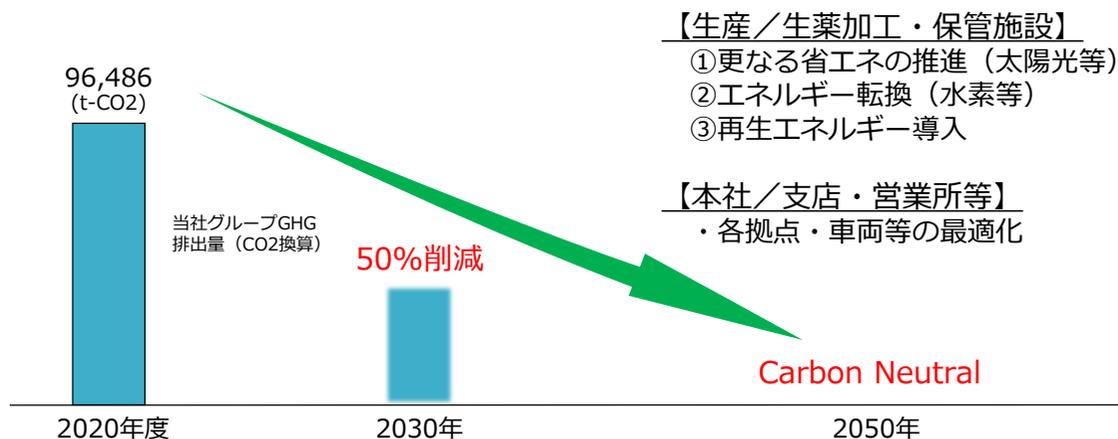
こちらは、統合報告書2021（17・18頁）に掲載しております、バージョンアップした「ツムラグループ・マテリアリティ」です。

漢方・中薬・生薬という「事業を通じた社会課題の解決」を強化していくとともに、「経営基盤の強化」ともなる地球環境・自然環境の変化や危機に最も敏感な企業であり続けるべく、さまざまな取り組みを深化させていくことを、ツムラグループの最重要課題と位置づけています。

国内における漢方事業はもとより、新たに中国における中薬・生薬事業を通じて、医療・医薬品のアクセスの拡大に尽力していきます。植物を中心とした多成分系複合製剤としての医薬品の価値は、他の医薬品にはない独特なものであり、特に複数の症状に悩む高齢者疾患や女性特有の疾患にお役立ていただけることから、この分野において世界をリードする覚悟で事業に取り組んでいきます。

活動1：温室効果ガス（GHG）の排出抑制

活動2：その他サステナビリティ活動



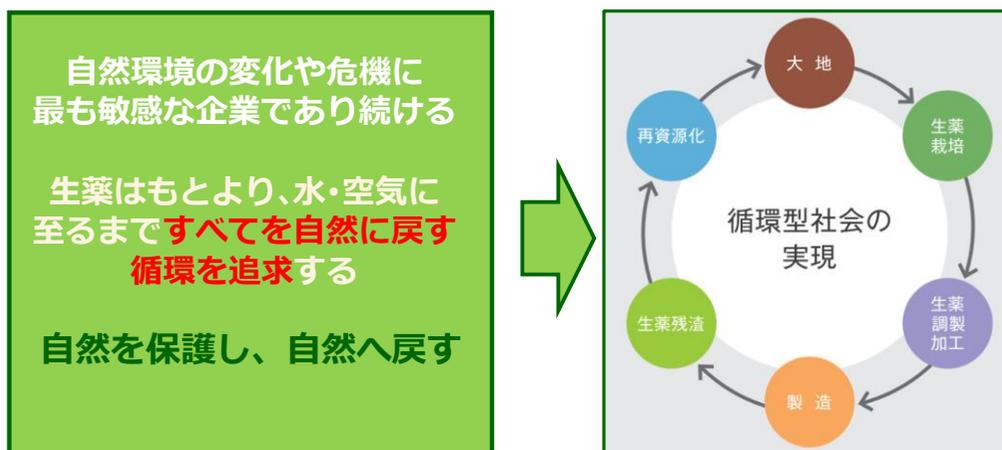
■ ESG・サステナビリティに向けた取り組み

先日もCOP26が開催され、残念ながら「脱石炭」声明に日本は賛同してはおりませんが、国のエネルギー政策のもと、新たな技術や再生可能エネルギーの利用が普及することを念頭に、当社グループとしては、ご覧のとおり、現状10万トン近い温室効果ガス（GHG）を、2030年に50%削減、2050年にはカーボン・ニュートラルの実現を目指します。

当社グループをあげて、生産設備のさらなる省エネ化、工場施設おける太陽光発電の利用や再生可能エネルギーへの切り替えなどにより、GHG削減に取り組んでいきます。

活動 1 : 温室効果ガスの排出抑制

活動 2 : その他サステナビリティ活動



25

## ■ ESG・サステナビリティに関する取り組み

自然の恵みである生薬を原料として事業を行う当社グループが持続的に成長するためには、自然環境の変化や危機に最も敏感な企業であり続け、生薬はもとより、水・空気に至るまですべてを自然に戻す循環を追求しています。

脱プラスチックや生薬残渣のさらなる利活用など、すでに取り組み始めているものもあり、今後は新たな技術の応用などにより、果敢に挑戦していきます。

TCFDへの賛同表明（2021年10月1日）



外部有識者を交えた役員検討会

「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）最終報告書」に基づき、4つの開示項目（ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標）を経営課題として捉え、施策立案・開示を実施予定

外部有識者を交えた役員検討会（写真：2021年度）  
気候変動による事業リスクと機会の抽出の実施

2022年度を初年度とする「サステナビリティ・ビジョン2050」を策定予定

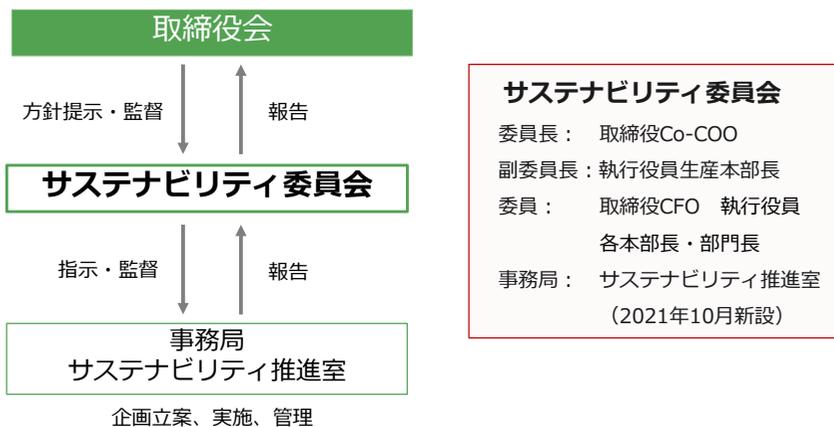
■ 気候関連財務情報開示

2021年10月1日に、当社はTCFDへの賛同を表明しました。  
4つの開示項目（ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標）について、経営課題として認識し検討を進めています。

2021年度は、外部有識者を交えて役員検討会を実施し、気候変動による事業のリスクと機会の抽出を行っています。

2021年10月「サステナビリティ委員会（委員長：取締役Co-COO）」を設置

- 取締役会からの方針を受けて具体的な目標・施策などを決定し、その進捗状況を取締役会へ報告
- 取締役会によるモニタリングを受け、その意見や助言をサステナビリティ推進活動へ反映



■ ESG・サステナビリティに関する体制

当社の取締役会は、サステナビリティに関する取り組みが経営の重要な課題であると認識をしており、2021年10月に取締役Co-COOを委員長とする「サステナビリティ委員会」を新設しました。

取締役会は、サステナビリティ・ビジョン2050を長期経営ビジョン2031の上位概念と位置づけ、サステナビリティ・マテリアリティの取り組みと長期経営ビジョン実現・中期経営計画達成の両立を図るべく、方針提示と監督を行っています。

取締役会の方針を受け、ご覧のメンバーで構成するサステナビリティ委員会がコントロールタワーとして、グループ全社の取り組みの推進・活動・進捗管理・報告を実施していきます。

## 本日の内容

1. 2021年度 第2四半期決算概況
2. 国内事業
3. 中国事業
4. ESG・サステナビリティ
5. 2021年度 業績予想

### ■ 2021年度 業績予想

## 2021年度 業績予想の修正

(百万円)

	前回公表予想 2021.5.11	修正予想 2021.10.29	前回公表予想比	
			金額	率
売上高	122,500	<b>127,500</b>	+5,000	+4.1%
国内	113,700	<b>117,800</b>	+4,100	+3.6%
海外	8,800	<b>9,700</b>	+900	+10.2%
営業利益	19,500	<b>21,100</b>	+1,600	+8.2%
経常利益	20,000	<b>23,400</b>	+3,400	+17.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,200	<b>16,600</b>	+2,400	+16.9%

	前回公表予想	修正予想
配当金(1株あたり)	64円	<b>64円</b>
EPS	185.60円	<b>216.97円</b>
ROE	6.4%	<b>7.4%</b>



(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、COVID-19の更なる感染拡大による社会経済活動への影響など、現時点で予測できないリスクによる影響は考慮しておりません。実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。状況に変化が発生した場合は適時・適切な開示を実施いたします。

## ■ 2021年度 業績予想の修正

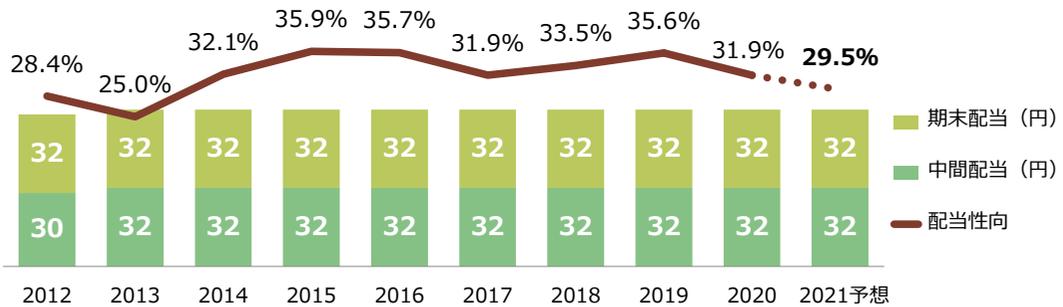
10月29日に公表いたしました通期業績予想が、修正予想です。

売上高1,275億円、営業利益211億円、経常利益234億円、親会社株主に帰属する当期純利益166億円、EPS216.97円、ROE7.4%の予想です。1株当たりの配当金の予想に変更はありません。

右側の第3期中期経営計画の数値目標を、いずれも上回る通期業績予想です。

方針

- “漢方”事業の持続的な拡大と中国事業の成長投資および基盤構築を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況等を勘案し、安定配当を実施する



(注) 2021年度期末配当金・配当性向(予想)は、第86回定時株主総会による配当議案決議が前提の予想数値を記載

30

■ 株主還元

株主還元につきましては、これまでの方針に変わりはなく、国内における漢方事業のさらなる拡大に加え、特に、中国事業においてはM&Aや開発上市などへ成長投資をさせていただき、事業基盤の強化を通じて企業価値・株主価値の向上に努めます。

コーポレート・コミュニケーション室

I R推進グループ

investor\_madoguchi@mail.tsumura.co.jp

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれら見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利・為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。

# appendix

第3期中期経営計画（2019-2021年度）に収益認識基準を適用

	第3期中計経営計画 数値目標	第3期中計経営計 数値目標 収益認識基準適用	2021年度 業績予想 修正後
売上高	1,350億円以上	1,200億円以上	1,275億円
営業利益	190億円以上	190億円以上	211億円
ROE	6%以上	6%以上	7.4%

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

## 育薬処方

大建中湯

抑肝散

六君子湯

牛車腎気丸

半夏瀉心湯

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データなど）により診療ガイドライン掲載を目指す処方

## Growing処方

補中益気湯

芍薬甘草湯

麦門冬湯

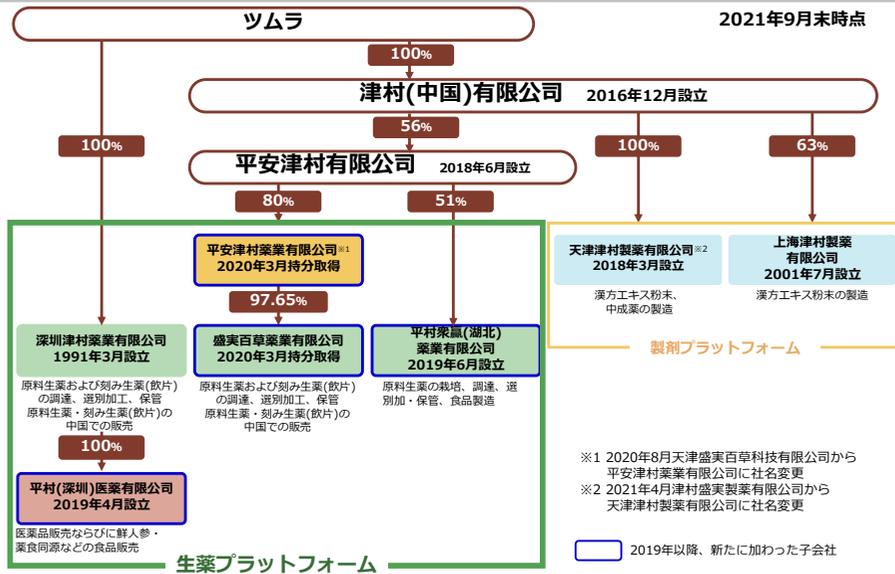
加味逍遙散

五苓散

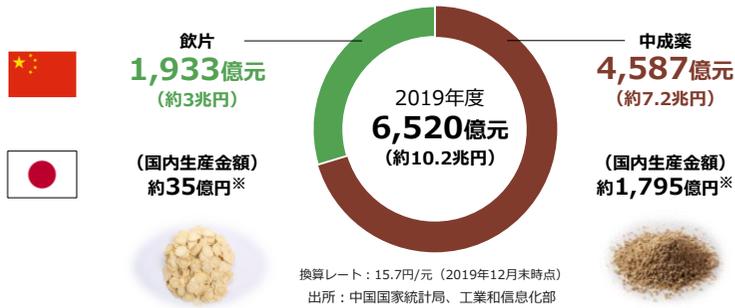
# 企業グループ関係図



2021年9月末時点



# 中国における中薬市場規模



※出所：日本漢方生薬製剤協会「漢方製剤等の生産動態」

用語	意味	漢方医学において対応する語 (必ずしも「同義」ではない)
中薬	中医学で使用する薬剤（中成薬、飲片など）	漢方薬、刻み生薬、生薬
飲片	刻み生薬と同義。煎じて服用する	刻み生薬
中成薬 └ (古典処方中薬複合製剤)	中医学の理論に基づいた処方を、顆粒や丸剤等の形にした薬剤 (古くからある中国の医学書由来の処方を、顆粒や丸剤等の形にした薬剤)	漢方エキス製剤、生薬製剤 (漢方エキス製剤)